

事業所名

ここと。

支援プログラム

作成日

2024年

11月

15日

法人（事業所）理念		私たちは、子ども達の居場所であり続けます					
支援方針		発達に悩みを抱えるお子様とその保護者様に、障がいがあっても安心して生活できるように体力面・コミュニケーション面の両方から日々サポートを行っています。言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・心理士の資格を持つスタッフがそれぞれ在籍しており、それら4つの専門的アプローチを軸に、一人ひとりに沿った個別支援計画を作成し、子どもたちの成長をサポートしていきます。専門性を重視したプログラムを多く用意していますが、運動や学習支援・創作活動なども取り入れ、集団生活や社会性を学ぶプログラムも行ってまいります。					
営業時間		10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	トイレトレーニング、おもちゃのお片付け、食器洗い・お片付け、ごみをちゃんと捨てる、順番を守るなど、日常生活を送る上で必ず必要な事を学びます。また必要に応じて、作業療法士・保育士とも連携した個別支援プログラムも行ってまいります。					
	運動・感覚	運動面では運動が得意な子ども不得意な子ども身体を動かすことで脳に刺激を与え、新たな発見や得意分野の開拓を促します。体感トレーニングを通じて知ることによって飛躍的に運動能力を向上させる子どもいます。また理学療法士と連携した個別プログラムも行います。理学療法士の監修のもと、姿勢の保持や身体を動かすことへのサポートをしたり、作業療法士の監修のもと、お箸の持ち方から細かな指先の動作の練習もしております。					
	認知・行動	専門療育担当者監修のもと、視覚情報や聴覚情報などに関する認知のトレーニングを行ったり、ワーキングメモリに関するトレーニングを行っております。また、臨床心理士と危険予測や感情の認知、表現に関する訓練を行い、行動の変容に繋がっています。					
	言語 コミュニケーション	専門療育担当者監修のもと、言葉の遅れやコミュニケーションの苦手さに対してサポートを行っております。語彙を増やすためのトレーニングや構音障害へのアプローチ、また口腔器官の運動をサポートし、必要と思われる療育を行っております。					
	人間関係 社会性	専門療育担当者監修のもと、人と接することに対する不安や集団生活に対する不安をサポートしております。自分が何に困っているのか、それを解消するためにはどうすればいいのか。また、お子様の興味関心や得意なこと、うまくいった体験などにも焦点を当てながら自己理解を深められるトレーニングを行います。					
家族支援		専門療育で行っている内容を適宜お伝えし、情報の共有を徹底しております。送迎時の共有や、電話連絡等を通じて、専門療育で行っている内容や、進捗状況を共有しており、必要に応じてご家庭でのご協力を依頼することもあります。			移行支援	日常的な連携や場合によっては、所内での様子の共有を図ります。所内での様子を記録し、必要に応じて、学校や園との連携を図っております。	
地域支援・地域連携		ニーズに合わせて学校や園と会議などで連携をし、包括的な支援にあたっております。			職員の質の向上	社内研修を拡充し療育の質を向上できるよう、各種研修を複数回行っております。また、外部研修にも参加し、資格の取得を推進しております。	
主な行事等		季節の行事(夏祭り、ハロウィン、クリスマス)、外出支援(公園・動物園等)、避難訓練(年二回)					